第8回　テスト

１．器質的疾患はみられないが、ストレスにより身体症状がみられるのはどれか。１つ選べ。

　　　 a　認知症

　　　 b　てんかん

　　　 c　不安障害

　　　 d　気分障害

　　　 e　統合失調症

２．過剰な不安に適応できない状態はどれか。1つ選べ。

　　　 a　双極性障害

　　　 b　統合失調症

　　　 c　不安障害

　　　 d　てんかん

　　　 e　認知症

３．神経症性障害について正しいのはどれか。 1つ選べ。

　　　 a　病識欠如がみられる。

　　　 b　人格は保たれている。

　　　 c　器質的原因で発症する。

　　　 d　認知行動療法は無効である。

　　　 e　歯科恐怖症は分類されない。

４．恐怖症性不安障害の治療に使用される薬剤はどれか。 1つ選べ。

　　　 a　ピペラジン系薬

　　　 b　マクロライド系薬

　　　 c　バルビツレート系薬

　　　 d　カテコールアミン系薬

　　　 e　ベンゾジアゼピン系薬

５．限局性恐怖症はどれか。 1つ選べ。

　　　 a　心気症

　　　 b　群集恐怖症

　　　 c　歯科恐怖症

　　　 d　強迫神経症

　　　 e　対人恐怖症

６．ある特定の状況で精神症状と身体症状が出現するのはどれか。２つ選べ。

1. 双極性障害
2. 歯科恐怖症
3. 選択性緘黙
4. アルツハイマー病
5. 外傷性ストレス障害

　選択性緘黙：特定の状況で話せないという所見ですので、精神症状と身体症状の双方が出現する者でないという見解です。

PTSDは、発汗、嘔気などの身体症状と精神的苦痛を伴いますので、eを選択する方が優先されます。

　正解はbeです。

７．心身症や神経症の際に有効な心理テストはどれか。 2つ選べ。

　　　 a　鈴木ビネー知能検査

　　　 b　Y-G性格検査

　　　 c　ロールシャッハ・テスト

　　　 d　田中ビネー知能検査

　　　 e　遠城寺式乳幼児分析的発達検査

８．神経症について誤りはどれか。 １つ選べ。

　　　 a　日常的に症状が出現する。

　　　 b　客観的に異常所見がない

　　　 c　ストレスが関与

　　　 d　症状は逃避行動である

　　　 e　行動療法が有効である

ある場面、ある環境下だけですので、日常的に症状が出現するものではありません。

普段は客観的な身体の異常所見はありません。

９．ある行為をしないでいられないのはどれか。１つ選べ。

1. 強迫症
2. 双極性障害
3. 歯科恐怖症
4. 選択性緘黙
5. 外傷性ストレス障害

10．歯科恐怖症患者への歯科治療時の対応はどれか。すべて選べ。

1. 系統的脱感作
2. 笑気吸入鎮静法
3. フラッディング
4. レスポンスコスト
5. リラクセーション

Abe

レスポンスコストはストレスを与えるので、歯科恐怖症患者へは不適切です。